地域再生計画

1 地域再生計画の名称

「えすこな雲南市」実現に向けたみんなが幸せに暮らせる持続可能なまちづくり

2 地域再生計画の作成主体の名称

島根県雲南市

3 地域再生計画の区域

島根県雲南市の全域

4 地域再生計画の目標

本市の人口は、2005年の44,403人をピークに減少しており、国立社会保障・人口問題研究所によると、2020年時点では36,007人であり、2040年には24,573人となる見込みである。

年齢3区分別の人口動態をみると、年少人口（0～14歳）は2005年の5,768人をピークに減少し、2020年には4,041人となる一方、老年人口（65歳以上）は2010年の13,787人から2020年には14,422人と増加の一途をたどっており、少子高齢化がさらに進むことが想定されている。また、生産年齢人口（15～64歳）も2005年の24,687人をピークに減少傾向にあり、2020年には17,487人となっている。2040年では高齢者人口の割合が生産年齢人口の割合よりも高くなる（46.3%）見込みである。

人口の自然動態をみると、出生数は2005年の328人をピークに減少し、2023年には154人となっている。一方、死亡数は2023年には707人と年々増加してきており、2023年の自然増減は▲379人となっている。また、合計特殊出生率をみても、2020年には1.50と県平均の1.60を下回っている。社会動態については2015年度より人口の社会増に向けた重点戦略（定住基盤の整備及び人材の育成・確保）に取り組み、2014年の社会増減は▲222人から2023年の社会増減は▲140人と改善傾向ではあるが、依然として社会減が続く状況となっている。このように、人口の減少は出生数の減少（自然減）や、転出者の増加（社会減）等が原因と考えられる。

今後も人口減少が進むことで、生活関連サービス（小売・飲食・娯楽・医療機関等）の縮小、税収減による行政サービス水準の低下、地域公共交通の撤退・縮小、空き家、空き店舗、工場跡地、耕作放棄地等の増加、地域コミュニティの機能低下等の影響が懸念される。

これらの課題に対応するためには、ゆるやかな人口減少は前提としつつも、「人と人」、「人と自然」、「人と歴史・文化」のつながりを次世代につないでいくために、前例にとらわれない新しい発想で変えるべきものを変えていくことが求められる。本取組では、デジタル技術も活用しながら、みんなが幸せに暮らせるまちづくり（えすこな雲南市）の実現を図ること通じて、自然減の減少や社会減に歯止めをかけることを目指す。

なお、これらに取り組むに当たっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げ、目標の達成を図る。

- ・基本目標1 えすこに暮らす（暮らし）
- ・基本目標2 えすこに育む（人づくり）
- ・基本目標3 えすこに創る（価値創造）

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2027年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	地域活動や市民活動に参加している市民の割合	61.1%	66%	基本目標1
イ	安心して住みよいと感じる市民の割合	57%	58%	基本目標1
ウ	自分は健康であると感じる市民の割合	75.2%	78%	基本目標1
エ	子育てしやすいまちであると感じる市民の割合	72.3%	74%	基本目標1
	合計特殊出生率	1.50	1.57	基本目標1

オ	人口の社会動態（単年度）	▲140人	▲40人	基本目標2
	UIターン者数（単年度）	123人	140人	基本目標2
カ	スポーツや文化芸術に親しんでいる市民の割合	31.7%	37%	基本目標2
キ	将来も雲南市に貢献したいと思う市内高校生の割合	72.5%	78%	基本目標2
ク	チャレンジしやすいと感じる市民の割合	40%	43%	基本目標2
ケ	性別などに関係なく誰もが平等に扱われていると感じる市民の割合	65.1%	70%	基本目標2
コ	市内総生産額（単年度）	1,253億円	1,268億円	基本目標3
サ	観光消費額（単年度）	23.7億円	29億円	基本目標3
シ	脱炭素に関する取組をしている市民の割合	60.1%	72%	基本目標3

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

「えすこな雲南市」実現に向けたみんなが幸せに暮らせる持続可能なまちづくり事業

えすこに暮らす事業

ア みんなが主役の自治のまち事業

イ どこでも安心して暮らせるまち事業

- ウ みんながずっと元気なまち事業
- エ みんなで子どもを育てるまち事業

えすこに育む事業

- オ 人の輪が広がるまち事業
- カ 心の豊かさを実感できるまち事業
- キ ふるさとを学び育つまち事業
- ク チャレンジが生まれるまち事業
- ケ みんながみんなを大切にするまち事業

えすこに創る事業

- コ 挑戦し活力を産みだすまち事業
- サ みんなのたからを誇るまち事業
- シ 自然の恵みがめぐるまち事業

② 事業の内容

- ア みんなが主役の自治のまち事業

地域の特性や人のつながりを活かし、市民が主役の協働のまちづくりを進める事業

【具体的な事業】

- ・地域自主組織を中心に多様な主体や人材が重層的に関わる共助のインフラ（基盤）づくり
- ・地域の担い手確保や関係人口の拡大を支援する新たな仕組みづくり
- ・地域の寛容性の向上や活動の効率化を進め若者や女性など誰でも参画しやすい環境づくり 等

- イ どこでも安心して暮らせるまち事業

住みよさ、暮らしやすさを実感できるよう、地域力を活かした公共サービスや基盤整備を進める事業

【具体的な事業】

- ・どの地域でも安心して暮らせるよう公共インフラや地域交通ネットワ

ークの維持・充実

- ・防災・減災対策をハード・ソフト両面で整備
- ・空き家や遊休農地など未利用の地域資源の活用促進
- ・スマート物流や交通ネットワークの構築 等

ウ みんながずっと元気なまち事業

保健医療福祉の充実や地域の様々な人が連携協働した支え合いを進める事業

【具体的な事業】

- ・健康長寿・生涯現役をめざし、誰もが暮らしの中で楽しみながら健康づくりに取り組める環境づくり
- ・必要とする人が必要な医療や介護福祉サービスを適切に受けられる地域の実現
- ・誰もが安心して暮らせる共生社会の実現に向けた共助公助それぞれの特性を活かした連携の促進
- ・地域医療・福祉 DX 等

エ みんなで子どもを育てるまち事業

家族や地域の温かなつながりの中で安心して子供を育てられる環境をつくる事業

【具体的な事業】

- ・豊かな環境の中で健やかに遊び育つ雲南だからできる子育て環境づくり
- ・地域や事業者とともに安心して子育てしながら働ける環境づくり
- ・若い世代の結婚や子育てへの意欲を高めその希望を叶えられる環境づくり
- ・安心して子育てができるようデジタルツールによるサポート強化 等

オ 人の輪が広がるまち事業

雲南に愛着を持ち、まちづくりに関わる人の輪を広げる事業

【具体的な事業】

- ・若者や子育て世代を主なターゲットにした移住定住対策
- ・市外県外で暮らす本市出身の学生・社会人とのつながりづくり

・農ある暮らしなど雲南らしい暮らしに関心を持つ人の積極的な呼び込み 等

カ 心の豊かさを実感できるまち事業

楽しみながら、自分らしい豊かな暮らしの実現に資する事業

【具体的な事業】

・島根かみあり国スポ・全スポを契機として誰もが「する」「みる」「ささえる」ことができるスポーツ機会の充実と環境づくり
・地域の歴史や幅広い文化芸術に触れ学び合える機会の充実
・地域の文化や伝統行事の価値・魅力を伝えこれを活かした住民の交流活動推進 等

キ ふるさとを学び育つまち事業

地域の温もりの中で学びあい、ふるさと雲南を愛する人をつくる事業

【具体的な事業】

・知恵と勇気と誇りをもつ雲南の人づくり
・誰もが好奇心に応じた学びに接続でき夢や希望を抱くことのできる学びの場づくり
・こどもを真ん中にした教育環境づくり
・学校教育における ICT 利活用の推進 等

ク チャレンジが生まれるまち事業

チャレンジしやすい環境が広がり、多分野で多様なチャレンジを創出する事業

【具体的な事業】

・子ども・若者・大人・企業による地域や社会を変革する”ソーシャルチャレンジ”の推進
・誰もが挑戦しやすい環境づくり
・チャレンジを応援する仕組み（資金調達・人材獲得・場づくり・情報発信）づくり 等

ケ みんながみんなを大切にするまち事業

「『平和を』の都市宣言」の精神に基づき、お互いの価値観を尊重し、みんながいきいきと安心して暮らせる環境をつくる事業

【具体的な事業】

- ・お互いのいのちと人権を尊重し「平和を」のまちづくり
- ・地域の寛容性を高め様々な違いを持つ人たちが互いに認め合い自分らしく暮らせる環境づくり
- ・社会的に弱い立場の人でも誰一人取り残さないまちづくり 等

コ 挑戦し活力を産みだすまち事業

新しい発想や挑戦により稼ぐ力を高める事業

【具体的な事業】

- ・市内での経済循環を高めるための農林業をはじめとする地場産業の振興と域内消費の拡大
- ・国内外へのマーケット拡大を図るために豊かな環境や資源を活かした付加価値の高い農産品・商品や事業を生み出す
- ・地域の活力を高める企業の誘致や産業を支える人材の確保
- ・スマート林業やスマート農業の推進
- ・市内事業者の経営基盤強化及び地域ポイントの導入検討
- ・事務系職場の誘致 等

サ みんなのたからを誇るまち事業

世界に誇る歴史文化や資源を通じて国内外の雲南ファンとつながる環境をつくる事業

【具体的な事業】

- ・神話やたたらなど雲南独自の価値や魅力を活かしたブランド力強化
- ・広域観光やインバウンド（訪日外国人旅行）の推進
- ・豊かな里山の環境や生活文化を活かした観光まちづくり 等

シ 自然の恵みがめぐるまち事業

自然の恵みを生かした持続可能な循環モデルの確立に資する事業

【具体的な事業】

- ・雲南らしさを生かした脱炭素社会の実現に向けた取り組み
- ・人と自然が調和する豊かな農山村や生物多様性の保全に取り組む
- ・地域や事業者とともに、環境保全活動の推進や環境意識の向上に取り組む

・脱炭素への行動変容を促進するための脱炭素アプリの展開 等
※なお、詳細は第3次雲南市総合計画及び雲南市DX推進計画のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

5,100,000千円（2025年度～2027年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

【検証方法】

庁内推進体制において事業評価を行うとともに、外部有識者（地域づくり、産業、福祉、教育、報道、金融機関等）で構成する第三者委員会（雲南市総合計画推進委員会：H27.4.1条例施行）により毎年度7月頃に検証・見直しを実施する。

【外部組織の参画者】

地域自主組織から推薦された者／学識経験者（島根県立大学）／産業（雲南市商工会）／教育（雲南市校長協議会）／福祉（雲南市社会福祉協議会）／金融（JAしまね）／市長が適当と認める者（第3次雲南市総合計画策定委員）

【検証結果の公表の方法】

毎年度検証後速やかに雲南市ホームページへ掲載

⑥ 事業実施期間

2025年4月1日から2028年3月31日まで

6 計画期間

2025年4月1日から2028年3月31日まで